

## 令和6年度 第3回学校運営協議会及び第2回学校関係者評価委員会議事録

1 日 時 令和7年2月10日(月) 午前10時から正午まで

2 会 場 静岡県立東部特別支援学校 会議室

3 参加者 <学校運営協議会委員>

|                     |             |
|---------------------|-------------|
| 伊豆市児童発達センター長        | 大川 紀美子 様    |
| 相談支援事業所リベルテ主任       | 竹村 夏絵 様     |
| 寺家区副区長              | 鈴木 二三哉 様    |
| 韮山ライオンズクラブ会長        | 柿島 貴之 様(欠席) |
| 伊豆医療福祉センター          |             |
| サポートセンターみらいず相談支援専門員 | 杉本 智司 様     |
| 東部特別支援学校同窓会 コスモ 代表  | 小野 珠世 様     |
| 東部特別支援学校PTA会長       | 熊野 万起子 様    |

<学校職員>

|             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 校 長 長崎 良夫   | 副校長 池上 千穂   | 教 頭 佐藤 公平   |
| 事務長 望月 孝一   | 小学部主事 小林 暉長 | 中学部主事 後藤 佑美 |
| 高等部主事 西村 雄一 | 教務課長 齋田 祐亮  |             |

4 内 容

(1)開会

(2)校長挨拶

今年度は、コロナが明けていろいろなことが進められた。放デイ連絡会で学校の様子を見ていただいたり、学習発表会等に多くのギャラリーに入っていたりすることができた。いろいろなことを復活させ、やれることをきちんとやっていきたい。今回ご意見をいただいたことをもとに今年度のまとめを行い、次年度に繋げていきたい。

・児童生徒の学習活動から(主事より)

【小学部】

運動会では、スイッチを使って電動カーを動かし、リレーに参加した。ダンスでは、みんなで活動する楽しさが感じられた。学習発表会では、今までの学習の成果をみんなの前で発表できた。ハーモニカ演奏や民族楽器(太鼓)、IAI プログラミング学習などでは、地域の人材を活用した授業を実施した。校外学習では三津シーパラダイスの見学や修学旅行を実施した。学校間交流では、学校行事等で行った内容の紹介をした。居住地校交流では、居住地の学校の児童と交流を行い、地域の一員として意識を高めることができた。

【中学部】

3つのコースでの多様な授業の様子について紹介をした。教科コースでは、家庭科で保育の学習で赤ち

やんとのお触れ合いを行った。生活コースでは紙すき体験や英語の授業で ALT とのコミュニケーションを楽しんだ。生単では、スイカを育てる体験を行った。自立コースの生単の授業では、夏祭りをしたり、ひのきを使った足湯をしたりして自分の得意なことを生かしておもてなしをする学習を行った。

たくさんの人とつながりをもつことができた。蕨中とはポッチャをとおしての交流や、合唱を聞かせてもらった。中央特支とは zoom を使ったクイズ等で交流、長井崎小中一貫学校とも 2 回交流をしてポッチャやオリエンテーリングを行った。伊豆の国市生涯サポートセンターとネイチャークラフト、ディンブルアートを行った。くふうハヤテの選手との交流や柳谷本店さんによるだしの出前の授業も行った。

たくさんの行事をとおして学部友達との仲を深めた。東京への修学旅行、沼津港、三島大社への校外学習などを行った。

### 【高等部】

各学年、校外学習で学びを深めた。1 年生はみかん狩り体験、2 年生は横浜への修学旅行、3 年生は蕨山反射炉の見学に出かけた。職業・生活コースでは、地域の保育園、図書館に出かけて学習を行った。

卒業後の生活に向けて、産業現場等における実習の紹介や作業学習(ペットボトルのラベルはがし、空き缶つぶしなど)の様子、進路先の状況についての説明を行った。

同年代との交流として、伊豆中央高校野球部、田方農業高校(ハーバリウム作り)、知徳高校吹奏楽の鑑賞などを行った。

校外の人材を活用し、ダンス教室、ハーモニカ演奏、民族楽器の演奏、アロママッサージ、黒柳まんじゅう

### (3) 協議

(ア) 学校評価の概要について(教務主任より説明)

(イ) 気づいた点や意見について

(委員) 各学部の学習の様子を聞いて、情操教育がされていると感じた。交流活動は、小中の児童生徒にとってとても勉強になると感じているが、特支の児童生徒にとって、どんな学びを期待しているのか知りたい。

(学校) 友達に話しかけられることがよい刺激になる。人との関わりが増えることで、自分からコミュニケーションをとろうとする姿も見られた。

(学校) 新しい人、初めての人に自分を出して表現する経験をすることができる。また相手先の生徒に自分たちの学校のことを紹介することで達成感を得られ、自信に繋がっている。

(委員) 去年、この会で学校公開の話が話題になり、それを今年度実施できた。放課後等デイサービス見学会の様子を教えてほしい。また、学校の活動として命を守る役割や取り組みをしていることがよくわかった。

(学校) 見学会では、子どもたちが学校でどのように過ごしているかを見ていただいた。また校舎の中の様子やどのような支援を受けているのかが分かり、勉強になったと感想をいただいた。互いを知ることがこれからも大切にしていきたい。

(委員) 高 3 の保護者から、卒業後の事業所利用内容の変更について話を聞いた。この時期に急に変わってしまうことはとても大変。学校として何かできる対策はあるか。起きにくい状況を作る方法はあるか。

(学校)情報をすぐにもらうことしかできない現状がある。

(学校)進路の担当も常に事業所と連携をとり、本人の様子や家庭の希望を密に伝えている。学校も保護者も事業所と情報を密にとって対応をしていくしかない。

(学校)地域の自立支援協議会でも話題となっている。早めに調整をしながら、確認しながらいかないと、利用者側に不利益が生じることがある。今までも学校を越えて、進路のグループで情報交換をしている。ただ、急な変更は起こってしまう。

(委員)学校が医ケアのマニュアル作成に着手してくれたことはすごく大きい。書面化していくことで、支援者と共有すること、さらに更新していくことできる体制づくりが大切。保護者や多くの人の意見を取り入れて作り上げていけるとよい。協議委員の意見にもあった「保護者が付き添うことになる意図をきちんと説明する」ことはとても大切だと思っている。説明を受けることで、保護者にとっても自覚する一つになる。不利益なことも生じる現実と一緒にフォローできる体制を学校も準備してほしい。

自立活動教諭の役割を明確化した方がよい。学校としてどう考えているか。相手にとって不本意なことの伝え方についての研修はあるか。

(学校)伝える内容については、企画会で共有し、どう伝えるか、どうフォローしていくか検討してから説明を行っている。県の指導を受けたり、法的なアドバイスをいただいたりして対応をしている。

自立活動教諭は、看護師免許をもとに 看護師のマネジメント、医ケアの業務のとりまとめ、教師への指導をミッションとしている。今後も県として、P TやO Tの自立活動教諭も配属させていく予定。看護師とは違う立場で2つの文化(教育と医療)を融合させることに大変さを感じている。

(委員)担任と看護師がぎくしゃくしないように、フォローする役割が大切。管理職等に入ってもらい、複雑化した対応についての吸い上げを引き続きやってほしい。

(学校)教員の業務の主は授業だが、生命や医療の知識も必要な場面も多く、医療と連携していかなければならない。しかし、医療から教員ができることについて線引きが示され、そこに入り込むことは難しい。来年度は医ケア生が半数以上となる。医療をどう成立させて授業をしていくかが課題となっている。安全性と導入スピードなど、どこで折り合いをつけるか、今後も課題はたくさん発生する。教員以外の専門職を入れていく必要も感じている。

(イ) 4つの柱に沿って報告(教頭より)

- ・今年度のグランドデザインの説明
- ・▲(課題)の内容について報告

①『守る』について…6月の大雨対応や警報予想による2回の休校、南海トラフ臨時情報など、その都度対応を考えている。インシデントの中身が大切。その都度内容を共有し、対応を考えて安全、安心を第一に取り組んでいく。

②『育む』について…I C Tを生かした学習が充実していくよう、教育機器を整えつつ、教員の研修を行っていく。

③『つなぐ』について…H P等の情報発信は全世界に発信するため、慎重にならざるを得ない。一番に考えるのは教育の実施内容。無理のない範囲で情報を共有していきたい。

④『高める』について…学部を超えた授業参観を行うことで、他学部、他学年など広い視野をもち、

良い点を取り入れて指導力を上げていきたい。校内の業務についても現在整理しつつある段階。整理することで次年度に繋げていきたい。

(ウ)令和7年度学校経営計画案について(校長より)

- ・グランドデザインの説明(学校教育目標、目指す子供の姿、目指す学校像の紹介)
- ・学校経営計画書の説明(目標具現化の柱について)

(委員)知徳体の並び方が体知徳になっているが意図は？

(学校)肢体不自由学校としての本校の特色を生かして、最初に「体」を記述している。

(委員)『守る』の取り組みについて、災害時の避難所についてどのようになっているか？

(学校)今年度、伊豆医療福祉センターとの覚書を作成し、災害時に伊豆医療から医師や看護師を派遣してもらう話をしている。

(委員)保護者へのアナウンスはどうか？

(学校)学校運営に関することなので、教職員間で共有は行っている。防災計画の最後に記入していきたいと考えている。来年度の4月に物品についても話を行う予定。

(委員)伊豆の国特支は広域避難所となっている。寺家区の防災計画を立てる際、どこに避難したらよいか迷っている。

(学校)計画上では、本校は通常の避難所になっている。福祉避難所とはなっていない。障害等により個別の避難計画の作成している方については、行政の指導により判断をしてもらうようになっている。

(4)令和7年度学校運営協議会の委員について

- ・任命は4月に行う。次年度の役職の方をお願いをさせてもらう。

(5)校長挨拶

- ・いろいろな課題を言っていただくことで、新たなところに進み、さらに教育の質は高めていくことができる。子どもを中心にしながら、どうしたらよいか工夫し考えることがよりよい教育活動につながっていく。いろいろな助言を聞いたことから、優先順位をつけて実施していきたい。

(6)事務連絡

- ・令和7年度の予定…5/26、10/20、2/9の10時から12時で計画をしている。